



2014年10月31日  
三和ホールディングス株式会社  
www.sanwa-hldgs.co.jp

# 第80期 2015年3月期 第2四半期決算説明資料



The Genuine. The Original.



## ■ はじめに

1. 上期のポイントと最近の業績推移
2. 建設環境(日本・米国・欧州)

## ■ 2014年度 第2四半期(実績)

3. 決算ハイライト
4. 連結売上実績(セクター別)
5. 三和シャッター工業受注状況
6. 営業利益増減要因

## ■ 2014年度 通期(予想)

7. 通期予想ハイライト
8. 連結売上予想(セクター別)
9. 営業利益増減要因
10. 財務ハイライト

### 「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

## ■ 第一次3カ年計画の進捗

11. 重点方針の進捗について
12. アジアの事業基盤確立
13. グローバル・シナジー効果の発揮

## ◆ 参考資料

1. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向
2. 主要経営指標
3. トピックス
4. セクター別連結業績の概要
5. 製品別受注高・売上高(三和シャッター工業)
6. 2014年度ODC業績予想
7. 2014年度NF業績予想
8. 設備投資額と減価償却費

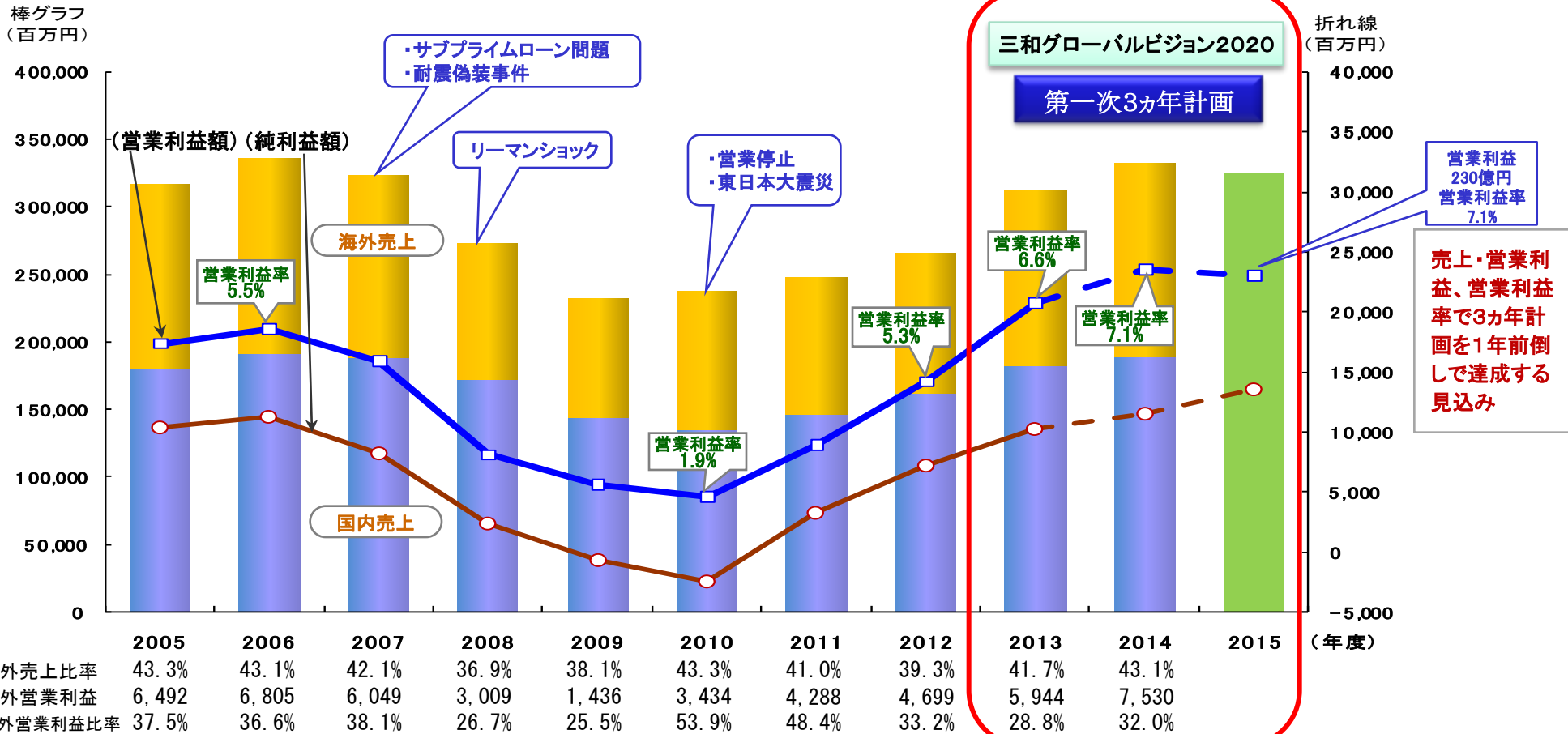
# 1. 上期のポイントと最近の業績推移

上期実績は、期初予想を大幅に上回り、  
通期では、利益が過去最高を更新する見込み！

## 【上期ポイント】

- ・日本：三和シヤッターおよび国内子会社が売上・利益とも、予想を大きく上回った。
- ・米州：寒波の影響もあり売上は予想に未達だが、利益は予想を上回った。
- ・欧州：経済環境が回復せず、売上は予想には未達だが、利益はコスト削減により改善した。

	米ドル	ユーロ
2011	79.63	111.42
2012	80.12	103.46
2013	97.99	130.56
2014	103.00	135.00
(予想)	(期中平均レート)	



## 2. 建設環境(日本・米国・欧州)

### ■建設環境

			2013		2014				2015	
					修正予想		期初予想		予想	
日本	住宅着工戸数	千戸	987	10.6%	888	↘ -10.0%	907	-8.1%	908	2.2%
	非住宅着工床面積	千㎡	47,679	7.0%	49,305	↘ 3.4%	49,681	4.2%	50,050	1.5%
	民間企業設備投資	10億円	70,338	2.7%	72,448	↗ 3.0%	71,393	1.5%	74,549	2.9%
米国	住宅着工戸数	千戸	925	18.5%	1,010	↘ 9.2%	1,080	16.8%	1,190	17.8%
	中古住宅販売戸数	千戸	5,090	9.2%	4,938	↘ -3.0%	4,976	-2.2%	5,316	7.7%
	非住宅着工床面積	百万Sq Ft	847	9.1%	936	↘ 10.4%	946	11.6%	1,064	13.7%
	設備投資	10億ドル	1,523	3.0%	1,616	↗ 6.1%	1,601	5.1%	1,738	7.5%
欧州	住宅完工戸数(独仏伊蘭)	千戸	699	-4.6%	705	↗ 0.9%	687	-1.7%	715	1.3%
	非住宅建物投資(独仏伊蘭)	百万ユーロ	83,844	-5.5%	84,242	↗ 0.5%	83,006	-1.0%	85,339	1.3%
ドイツ	住宅完工戸数	千戸	205	16.1%	225	↗ 9.8%	225	9.8%	245	8.9%
	非住宅建物投資	百万ユーロ	29,367	-3.1%	30,248	↘ 3.0%	30,691	4.5%	31,004	2.5%

※出典：(日)国土交通省2014.04、建設経済研究所2014.10

(米) Blue Chip Economic Indicators2014.10、National Association of Realtors2014.10、McGrawHill2014.06、(欧) Euroconstruct2014.06

日米の2014-15設備投資予想はニッセイ基礎研究所2014.09

※日本は年度ベース(4-3月)、米欧は暦年ベース(1-12月)

※ ↗ ↘ は期初予想との比較

### <建設環境見通しについて>

日本:住宅着工は予想以上の減速。非住宅着工床面積は、技術者不足などにより一時的に着工が減少しているものの、建築投資は底堅く推移すると予想。

米国:住宅の新規着工はやや勢いが弱まっているものの安定的に伸びる予想。中古住宅販売は、前年比マイナスの予想だが、足もとは堅調。非住宅分野は、景気の回復に伴い勢いが戻る見込み。

欧州:ドイツを中心に建設投資が一旦回復基調となったが、足もとは景況感が後退している。

■ 2014年度 第2四半期（実績）  
2014年4月～2014年9月

## 《通期連結実績》

	上期実績	1Q	2Q	期初予想	予想比	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	1,464億円 【1,415億円】	618億円	846億円	1,438億円	+26億円 (+1.8%)	1,344億円	+120億円 【+71億円】	(+8.9%) 【+5.3%】
営業利益	71.4億円 【70.5億円】	5.7億円	65.7億円	52.0億円	+19.4億円 (+37.3%)	45.1億円	+26.3億円 【+25.4億円】	(+58.2%) 【+56.2%】
経常利益	68.3億円 【67.4億円】	3.5億円	64.8億円	48.0億円	+20.3億円 (+42.2%)	43.0億円	+25.3億円 【+24.4億円】	(+58.8%) 【+56.8%】
当期純利益	32.9億円 【32.5億円】	0.1億円	32.8億円	23.0億円	+9.9億円 (+42.9%)	9.2億円	+23.7億円 【+23.4億円】	(+258.8%) 【+255.3%】

【】内は、13年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

## 《決算のポイント》

## 〈要約〉

三和シャッターを始め国内事業が引き続き好調を維持し、連結においても売上・利益とも期初予想を大きく上回った。営業利益および経常利益は、上期過去最高を更新した。

## 売上高

売上は、+8.9%(+120億円)の増収(このうち為替影響は+49億円)。予想比では+26億円となった。  
国内Gは、+9.1%(+70億円)の増収。三和シャッターは+67億円(予想比では+34億円)、他国内グループ会社は+3億円(予想比では▲0.4億円)となった。  
米国(ODC)は、+1.8%(+\$7.6百万:現地通貨ベース)の増収となった(予想比では▲\$9.1百万)。  
欧州(NF)は、▲1.6%(▲€2.5百万:現地通貨ベース)の減収となった(予想比では▲€4.3百万)。

## 営業利益

営業利益は、+58.2%(+26.3億円)の大幅増益(このうち為替影響は+0.9億円)。予想比では+19.4億円となった。  
国内Gは+45.6%(+17.8億円)の大幅増益。三和シャッターが+45.1%(+16.3億円)の大幅増益。予想比においても+14.4億円となった。他国内グループ会社は、前年比+52.8%(+1.5億円)、予想比+1.5億円と好調な結果となった。  
米国(ODC)は、現地通貨において+48.2%の大幅増益となり予想比も達成。販売価格効果に加えてコスト削減が寄与。  
欧州(NF)は、数量減をリストラ効果などコスト削減によりカバーし、現地通貨においても前年比+€1.4百万の改善となり、予想比でも+€0.5百万となった。

## 経常利益

経常利益は、+58.8%(+25.3億円)の大幅増益。予想比では+20.3億円となった。  
持分法投資損益が▲1.9億円悪化した。

## 当期純利益

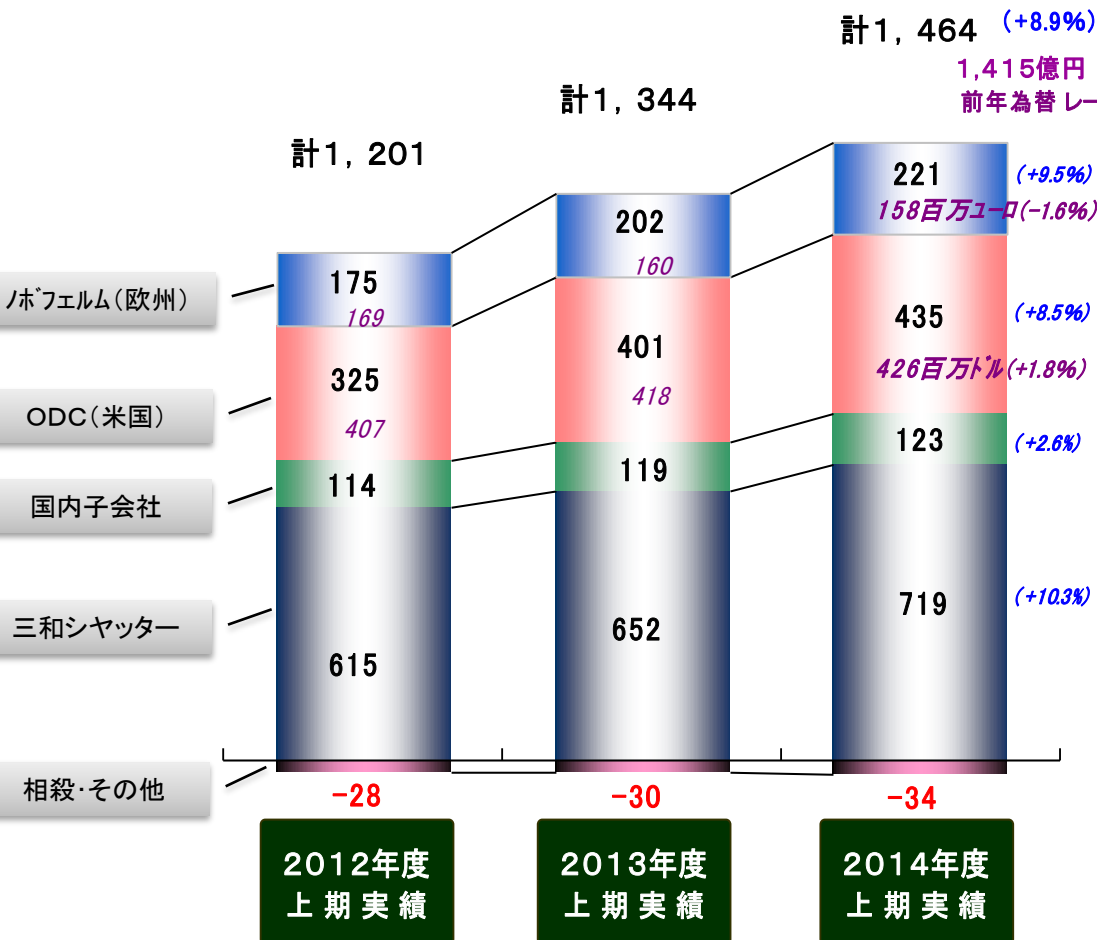
当期純利益は、前年比3.6倍(+23.7億円)の大幅増益。予想比では+9.9億円となった。  
昨年計上した国内IT除却損、ODCフランスの整理費用などの負担が無くなった影響で、特別損益が上期では+16.9億円改善した。

為替レート	2012/6	2013/6	2014/6
1ドル	79.78	95.90	102.23
1ユーロ	103.76	125.79	139.87

# 4. 2014年度 第2四半期 売上実績(セクター別)

単位  
 億円 百万ドル 百万ユーロ  
 (前年増減率)

## 売上高



※三和シャッターは、同社のみ個別数値  
 (三和HDは、相殺・その他に含む)

### <ノボフェルム(欧州)> 現地通貨で▲1.6%の減収 (30ページ参照)

- ① ガレージドアはフランスなどの市場悪化が続き、減収 (▲6.1%)
- ② ヒンジドア事業は、PJ受注活動等に注力し、微増収 (+1.6%)
- ③ 産業用ドアは、セクショナルドア等が伸長し、微増収 (+0.8%)

### <ODC(米国)> 現地通貨で+1.8%の増収 (29ページ参照)

- ① ドア事業はガレージドア、商業用とも増収 (+1.1%)
- ② 開閉機は各チャネルとも好調に推移し増収 (+7.5%)
- ③ 自動ドアは寒波の影響に加えて、新ERP導入による出荷遅れなどが発生し大幅減収 (▲10.2%)
- ④ 車両用ドアは大口顧客からの受注増加により大幅増収 (+12.6%)

### <国内子会社> +2.6%の増収

- ① 昭和フロントのみが店舗の着工減により減収(▲1.6%)
- ② 沖縄三和は、建設投資が堅調のため増収 (+7.6%)
- ③ 三和タジマは販売活動におけるグループ連携が奏功し増収 (+6.4%)

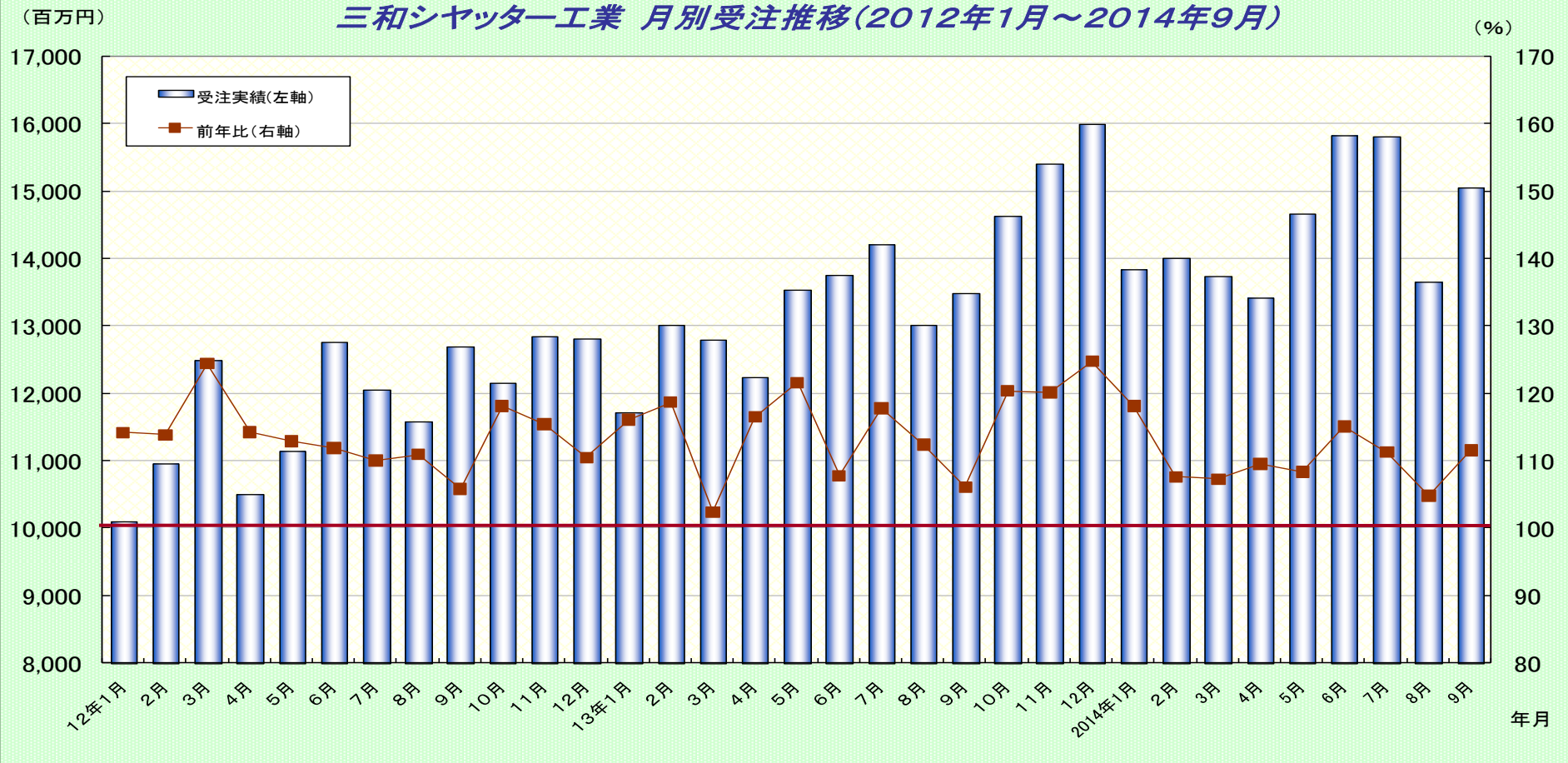
### <三和シャッター> +10.3%の大幅増収 (28ページ参照)

- ① 軽量シャッターは駆込み需要反動減があったにもかかわらず増収を確保 (+0.5%)
- ② 重量シャッターは工場・物流倉庫・大型店舗等の工事が順調に推移し増収 (+8.5%)
- ③ ビル・マンションドアは、オフィス、医療施設などが伸びたことにより大幅増収 (+13.5%)
- ④ メンテ・サービスは台風の影響もあり増収 (+4.1%)
- ⑤ 間仕切は、トイレブースやスチールパーティションなど営業活動強化により大幅増収 (+19.8%)

為替レート	2012/6	2013/6	2014/6
1ドル	79.78	95.90	102.23
1ユーロ	103.76	125.79	139.87

## 5. 三和シャッター工業受注状況

三和シャッター工業 月別受注推移(2012年1月～2014年9月)



### ■ 受注動向

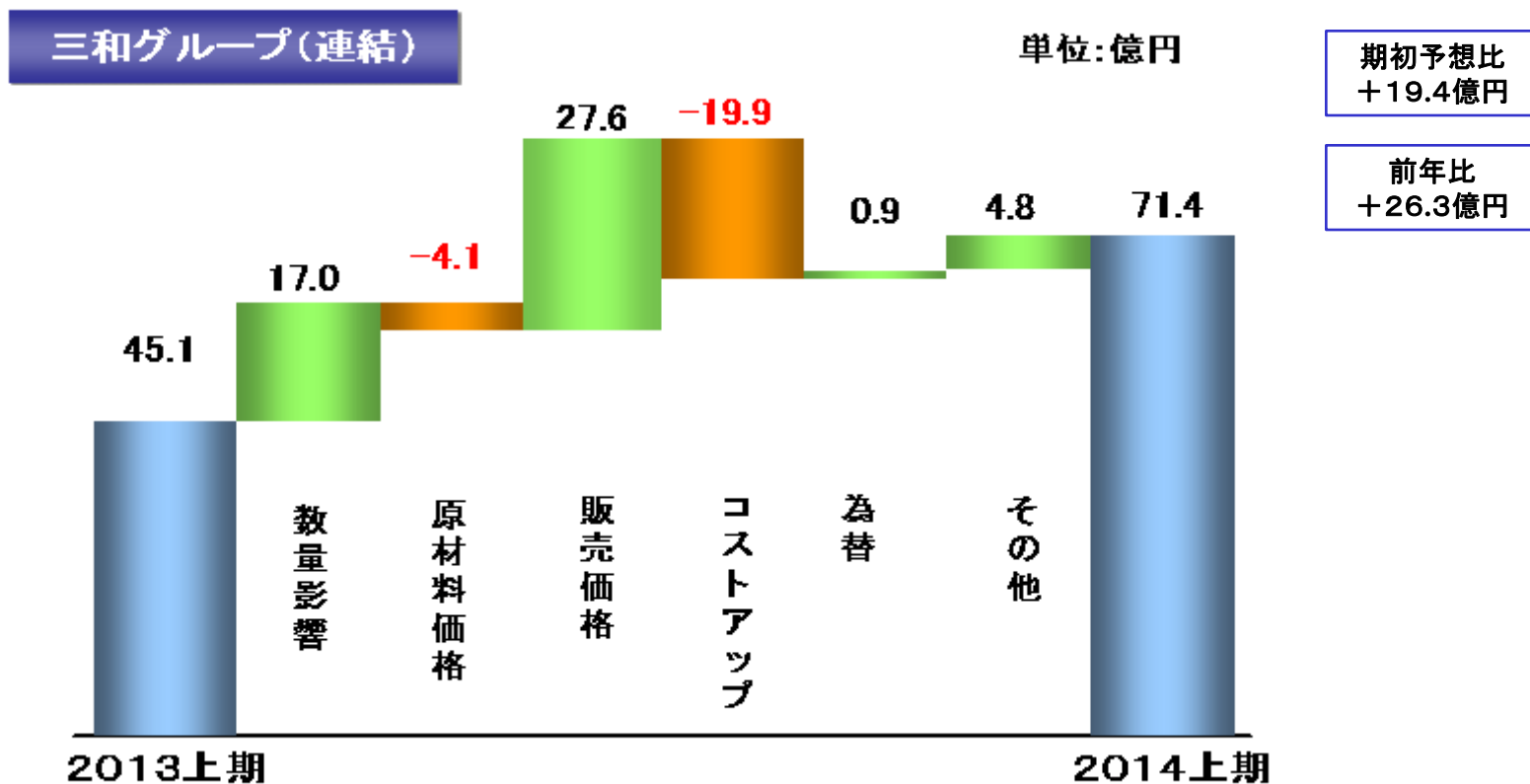
2014年度上期受注実績は885億円[前年比+10.3%]

(28ページ参照)

- ・受注実績は14年度上期予想を約65億円上回った。受注を牽引している商品は重量シャッター、ビルマンションドア、間仕切などであり、用途は全体に伸びているが、学校・病院・マンション・工場・事務所が大きく伸長。
- ・消費増税前の駆け込み需要の反動減については、2014年度上期は軽量シャッターで一部影響があったものの、その他戸建住宅用建材については影響が見られない(下期は反動減を予想)。
- ・通期受注予想を1,776億円(期初予想1,705億円)へ71億円増額修正。



## 6. 営業利益増減要因(連結実績)



### ■前年比ポイント:原価率が連結で1.3%改善

三和シャッターは、数量効果、販売価格効果(ビルマンシヨンドア)や変動費の改善。

ODCは、販売価格値上げ効果が大きく、NFは鋼材価格の下落が貢献した。

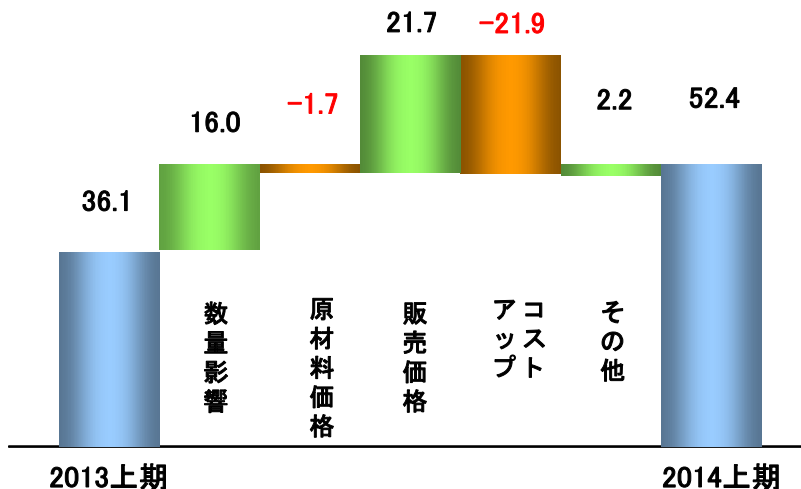
一方、販売管理費が人件費を中心に全セクターで増加(+12.9億円)したものの、粗利益が大幅に増加(+38.3億円)し、為替影響を加えた結果、営業利益は+26.3億円の大幅増益となった。

## 6. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません

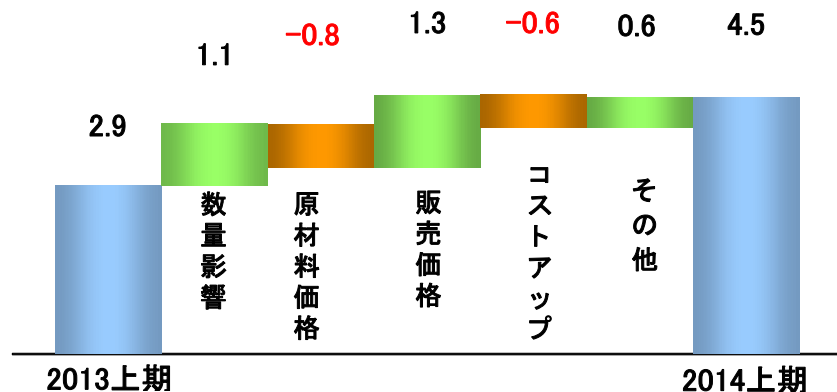
### 三和シャッター

単位: 億円



### 国内子会社

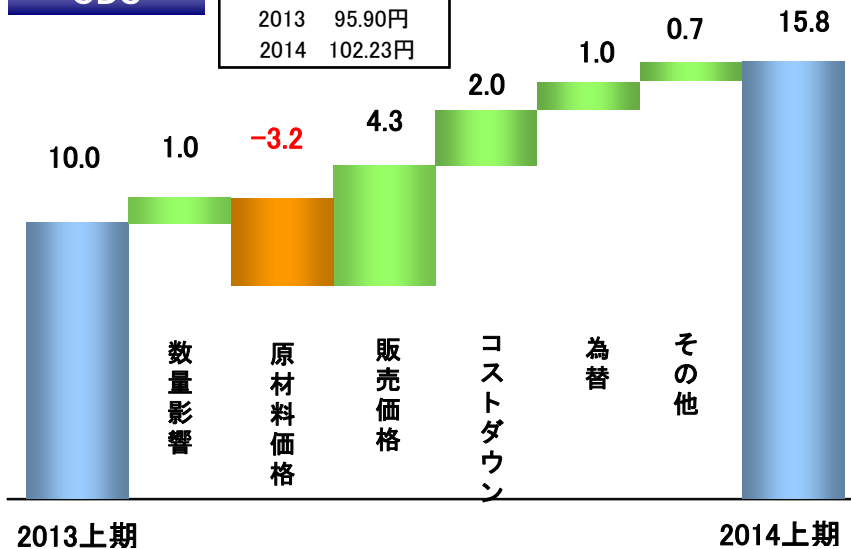
単位: 億円



### ODC

為替レート(米ドル)  
2013 95.90円  
2014 102.23円

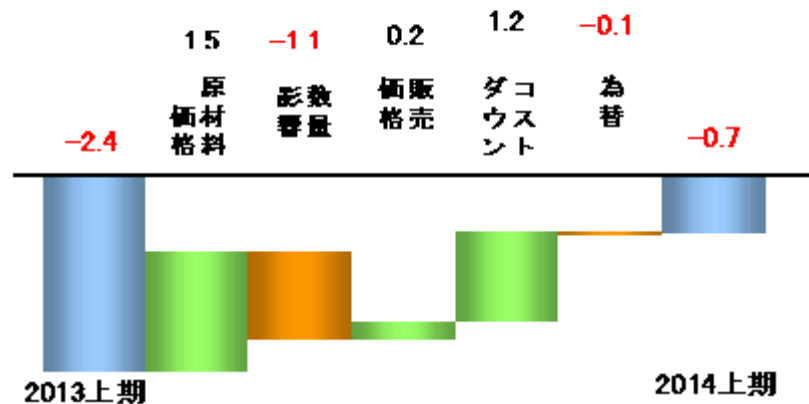
単位: 億円



### ノボフェルム

為替レート(ユーロ)  
2013 125.79円  
2014 139.87円

単位: 億円



■ 2014年度 通期(予想)

2014年4月～2015年3月

## 《2014年度通期予想》

	通期予想	期初予想	期初予想比	上期実績	下期予想	前年実績	前年比(額)	前年比(率)
売上高	3,325億円 【3,263億円】	3,290億円	+35億円	1,464億円	1,861億円	3,120億円	+205億円 【+143億円】	(+6.6%) 【+4.6%】
営業利益	235.0億円 【231.6億円】	220.0億円	+15.0億円	71.4億円	163.6億円	206.5億円	+28.5億円 【+25.1億円】	(+13.8%) 【+12.1%】
経常利益	230.0億円 【226.7億円】	215.0億円	+15.0億円	68.3億円	161.7億円	203.2億円	+26.8億円 【+23.5億円】	(+13.2%) 【+11.6%】
当期純利益	115.0億円 【113.0億円】	115.0億円	+0.0億円	32.9億円	82.1億円	101.6億円	+13.4億円 【+11.4億円】	(+13.2%) 【+11.2%】

## 《予想のポイント》

【 】内は13年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したもの。

## 〈要約〉

国内は消費増税の反動があるものの増収・増益を確保、米国は住宅・非住宅とも安定した回復を見込み、欧州はアルファ社を連結化するため、連結売上および営業利益・経常利益は期初予想を増額修正する。3ヵ年計画を1年前倒しで達成見込み。

## 売上高

連結で+6.6%(+205億円)の増収を見込む(このうち為替影響額は+62億円)。

国内Gは、+4.1%(+77億円)の増収予想。三和シャッターはじめ、国内各社とも消費増税の反動減や工期遅れの懸念があるものの、ビル建材の手持ち残が多く、また需要も底堅く伸びるため、引き続き増収を見込む。

米国(ODC)は、+4.1%(+\$37百万:現地通貨ベース)の増収を見込むが、期初予想を▲\$43百万減額した。

欧州(NF)は、+8.2%(+€27百万:現地通貨ベース)の増収を見込む。市場が再び減速気味であるが、アルファ社の買収寄与があり、期初予想を+€20百万増額した。アルファ社寄与を除けば▲€15百万の減額。

## 営業利益

連結で+13.8%(+28.5億円)の増益を見込む(このうち為替影響額は+3.5億円)。

国内Gは、+15.5%(+22.9億円)の大幅増益予想。三和シャッターが、期初予想を+16.0億円増額し、+15.1%(+20.3億円)の大幅増益予想。国内各社も+1.5億円増額し、+19.7%(+2.6億円)の増益予想。

米国(ODC)は、売上は期初予想を下回るが、原材料価格上昇コストを販売価格引上げにより吸収し、加えてコストダウンを強化することにより、期初予想通り+20.8%(+\$10.3百万)の大幅増益を見込む。

欧州(NF)は、数量減の影響をコストダウンで補い、またアルファ社の連結効果が大きく、+21.2%(+€1.8百万)の増益を見込み、期初予想を+€1.5百万増額した。アルファ社寄与を除けば▲€2.0百万の減額。

## 経常利益

配当収入減と一時要因による持分法投資損益悪化により、営業外損益が若干悪化するものの、経常利益は+13.2%(+26.8億円)の増益を見込む。

## 当期純利益

事業会社再構築等に係わる特損を期初予想から増額するため、当期純利益は期初予想並みとなるものの、前年比+13.2%(+13.4億円)の増益を見込む。

## 一株純利益

48.4円

為替レート	2011	2012	2013	2014(予想)
1ドル	79.63	80.12	97.99	103.00
1ユーロ	111.42	103.46	130.56	135.00

## 8. 2014年度 連結売上予想(セクター別)

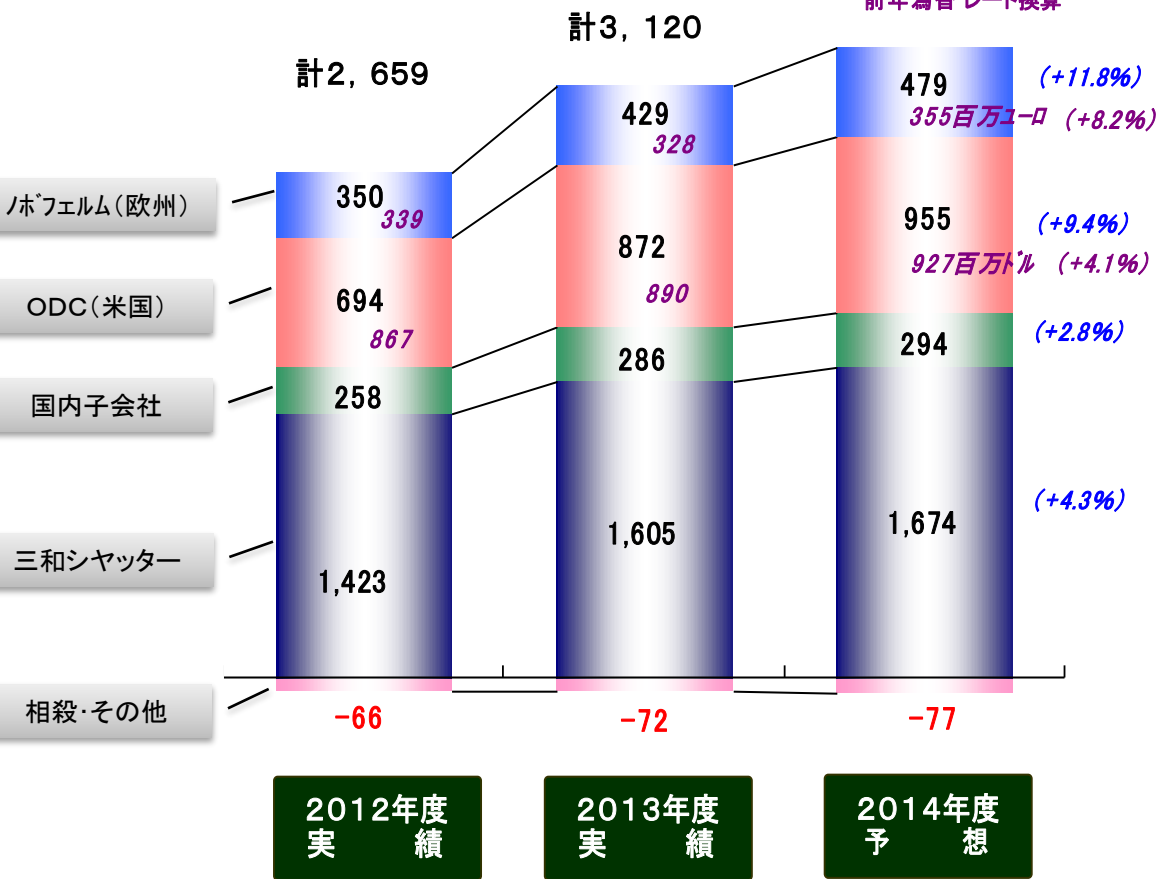
単位

億円 百万ドル 百万ユーロ  
(前年増減率)

# 売上高

計3,325 (+6.6%)

3,263億円 (+4.6%)  
前年為替レート換算



※三和シャッターは、同社のみの個別数値 (三和HDは、相殺・その他に含む)

### <ノボフェルム(欧州)> (30ページ参照)

現地通貨+8.2%の増収見込

- ① ガレージドアは、市場の再度の減速により減収
- ② ヒンジドアは、新製品投入やプロジェクトへの積極参加も、市場回復の遅れにより減収
- ③ 産業用ドアは、アルファ社買収効果により大幅増収

### <ODC(米国)> (29ページ参照)

現地通貨+4.1%の増収見込

- ① ドア事業は、ガレージドア・商業用ドアとも回復しており、昨年不調であったCDSも改善し、増収
- ② 開閉機は、廉価版開閉機も好評により増収
- ③ 自動ドアは、微増収にとどまる
- ④ 車両用ドアは大口顧客からの受注増加により大幅増収

### <国内子会社>

+2.8%の増収見込

- ① 昭和フロントのみ、店舗着工の遅延などにより微減収。(増益は確保)
- ② 沖縄三和は市場の堅調さと多品種化奏功により増収
- ③ 三和タジマはグループ内での汎用品販売の拡大により増収

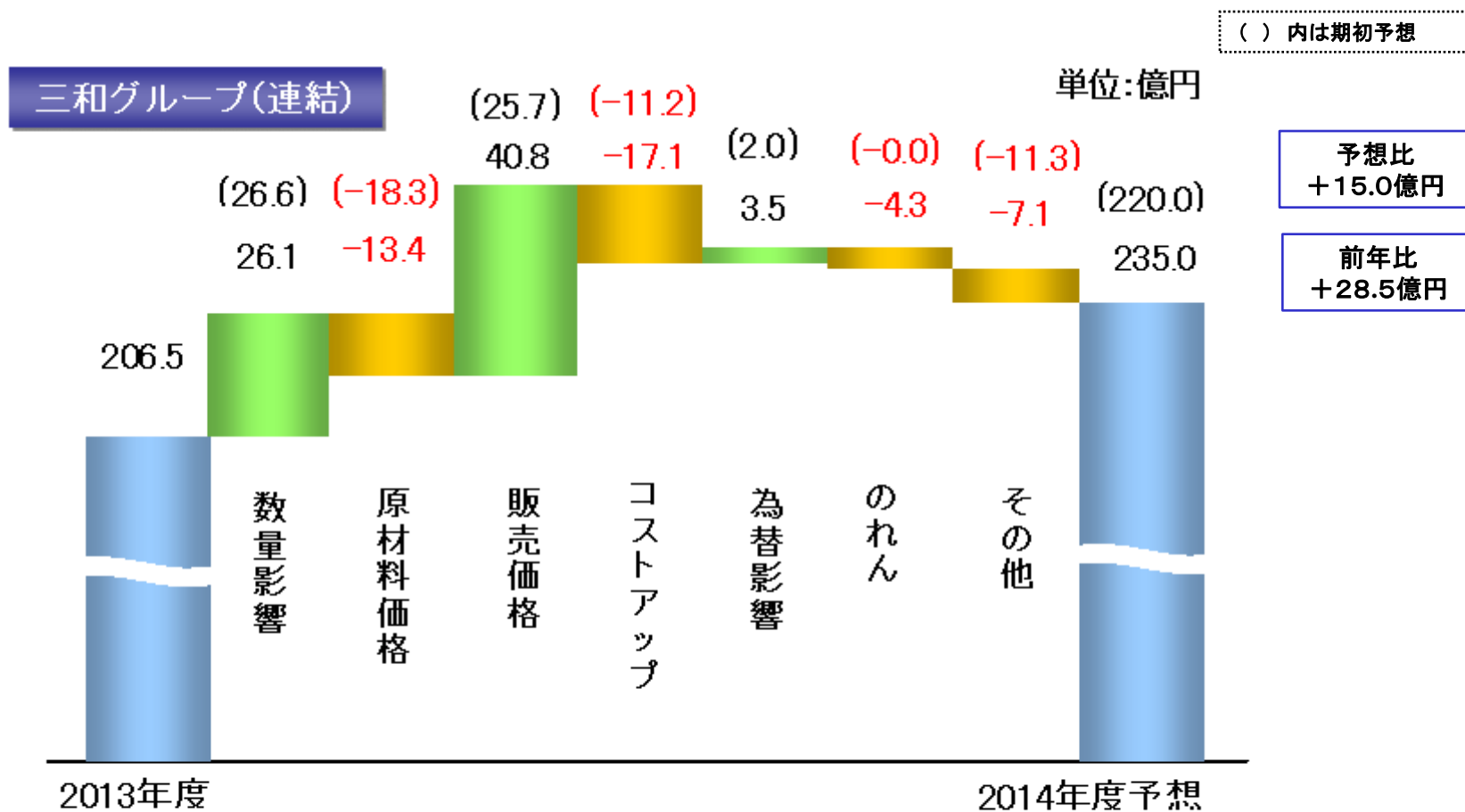
### <三和シャッター> (28ページ参照)

+4.3%の増収見込

- ① 軽量シャッターと窓シャッターは、消費増税駆込み需要の反動により減収
- ② 重量シャッターは、下期工期遅れが見込まれ横ばい
- ③ ビルマンションドアは事務所、医療福祉施設向けが堅調により増収
- ④ メンテサービスは台風の影響もあり増収
- ⑤ 間仕切は、トイレブースやスチールパーティションなど営業活動強化により大幅増収

為替レート	2011	2012	2013	2014(予想)
1ドル	79.63	80.12	97.99	103.00
1ユーロ	111.42	103.46	130.56	135.00

## 9. 営業利益増減要因(連結)



## ■ 期初予想からの修正ポイント

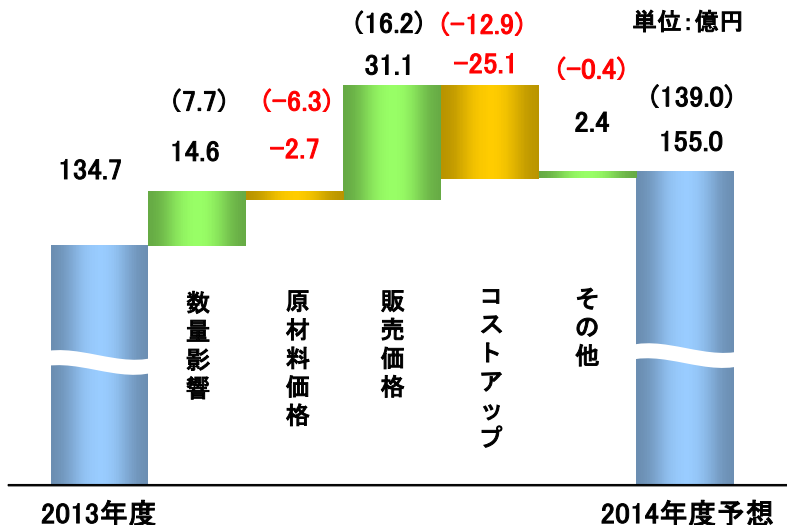
1. 国内の数量効果は期初予想から増額修正した。ただし、米国・欧州が減額修正。
2. 各セクターとも原材料価格の上昇を大きく見込んでいたが、三和シャッターでは期初予想から減額修正し、若干の利益押し上げ要因となる見込み。
3. 三和シャッターでは、販売価格効果を、大幅に増額修正した。

# 9. 営業利益増減要因(セクター別)

※各セクターには相殺項目があるため合計しても前ページの数値とは一致しません

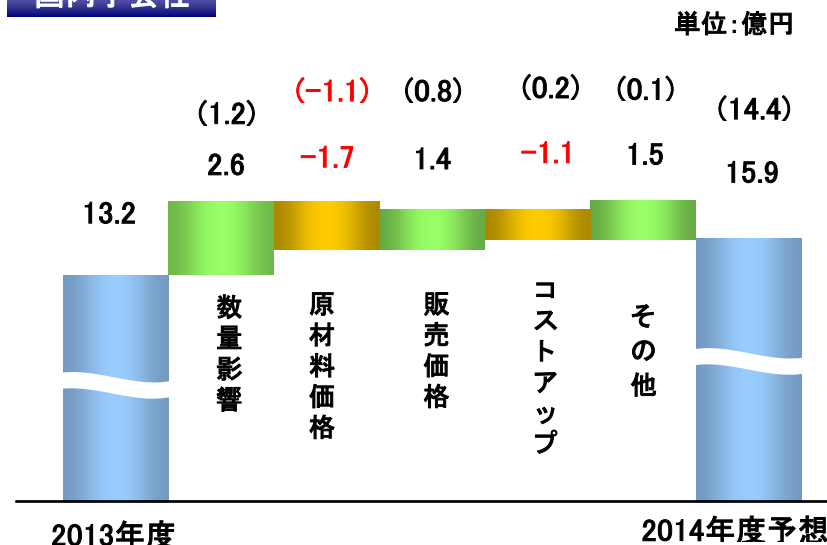
## 三和シャッター

( ) 内は期初予想



## 国内子会社

( ) 内は期初予想



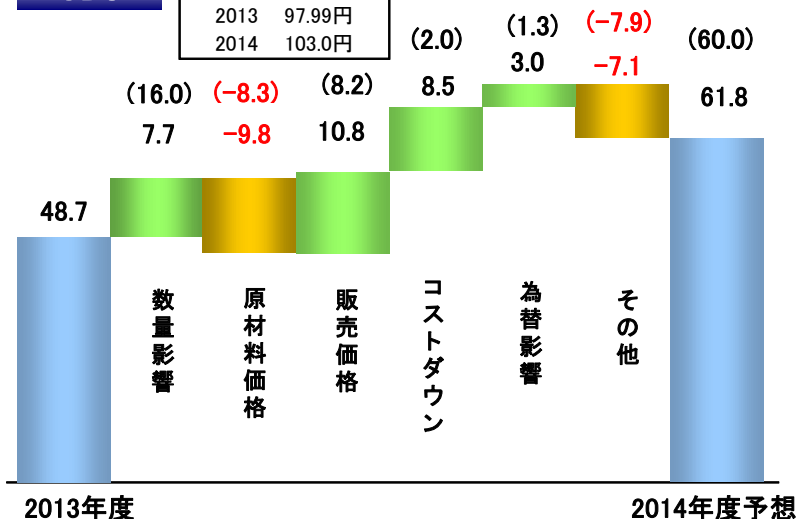
## ODC

為替レート(米ドル)

2013	97.99円
2014	103.0円

単位: 億円

( ) 内は期初予想



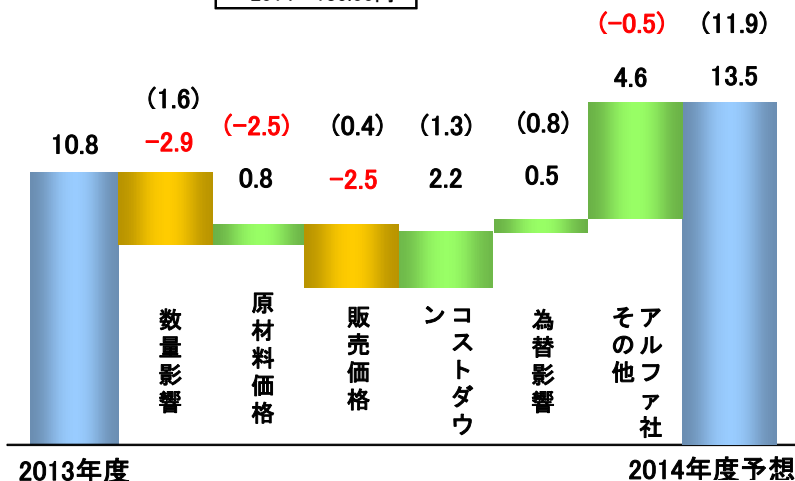
## ノボフェルム

為替レート(ユーロ)

2013	130.56円
2014	135.00円

単位: 億円

( ) 内は期初予想



# 10. 財務ハイライト①

(百万円)

## 1. 財務状況

	2013年		2014年			
	9月	比率	9月	比率	前年同期比 増減額	(前年比)
流動資産	155,694	59.5%	169,987	59.0%	+14,293	(109.2%)
現金・現金同等物	39,165	15.0%	49,908	17.3%	+10,743	(127.4%)
売掛金等、在庫	105,023	40.2%	110,830	38.4%	+5,807	(105.5%)
固定資産	105,866	40.5%	118,257	41.0%	+12,469	(111.7%)
投資有価証券	19,743	7.5%	14,832	5.1%	-4,911	(75.1%)
総資産	261,561		288,245		+26,684	(110.2%)
有利子負債	68,333	26.1%	75,112	26.1%	+6,779	(109.9%)
(D/Eレシオ)	0.65		0.65			
その他負債	87,654	33.5%	97,277	33.7%	+9,623	(111.0%)
純資産	105,574	40.3%	115,856	40.1%	+10,282	(109.7%)
為替調整勘定	4,953		7,056		+2,103	(+)

(百万円)

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度 (予)
フリー・キャッシュ・フロー (営業CF+投資CF)	▲ 4,417 WD買収	▲ 74	▲ 3,800 CDS買収	9,542	25,660	350 アルファ買収
ROE (%)	▲ 0.8	▲ 2.7	3.8	7.9	9.6	9.9

(百万円)

## 2. 特別損益の状況

	13年度実績	14年度		
		上期実績	通期見通し	期初予想
固定資産処分損	▲ 1,693	▲ 15	▲ 425	▲ 100
投資有証売却損、評価損	▲ 440	▲ 71	▲ 200	▲ 100
子会社事業再構築・整理費用	▲ 2,307	▲ 679	▲ 2,300	▲ 1,400
その他	▲ 194	▲ 45	▲ 525	▲ 300
特別損失計	▲ 4,634	▲ 810	▲ 3,450	▲ 1,900
特別利益	1,306	36	50	0
特別損益計	▲ 3,328	▲ 774	▲ 3,400	▲ 1,900



## 10. 財務ハイライト②

### 3. 配当について

12年度		13年度		14年度	
中間	期末	中間	期末	中間	期末予想
5円	5円	6円	7円	7円	7円

#### ・2014年度配当予想 14円(期初予想据置)

2014年度EPS予想:48.4円(株数は期中平均を使用、期末発行済株数で計算すると、EPSは49.4円になる。)

配当性向:28.9%(1株利益の30%を目安として実施)

### 4. 自己株取得について

#### ■概要

自己株を、50億円もしくは7,500千株を上限として取得することを決定。

※7,500千株として計算した場合、発行済株式総数(239,733千株)の3.12%相当

■目的 株主還元の一環およびROEの向上のため

■取得期間 2014年11月4日～2015年1月30日

### 5. 単元株式数の変更

■単元株式数を1,000株から100株に変更。

変更日:2014年10月1日

変更理由:投資家様の利便性向上のため

### 6. 株主優待の変更

■変更内容 ※2015年3月末の株主様から対象

・100株以上保有の株主様 ⇒クオカード500円分

・1,000株以上且つ2年以上保有の株主様

⇒クオカード2,000円分

**■三和グローバルビジョン2020**  
**第一次3カ年計画の進捗**

## 11. 重点方針の進捗について(日本)

### 1. 地域No.1販工店

- **マーケティング力、営業力の強化および設計・施工などインフラ整備**
  - ・地域の「顧客」「商品・サービス」を細分化し、効果的な戦略を実施
  - ・地域No.1販工店に必要な効率的な物流・施工体制整備

### 2. 生産供給体制

- **スチールドア、マンションドア、パーティションなど生産・供給能力確保**  
太田ドア工場、静岡工場などへの設備増強実施済み

### 3. 施工力の強化策

- **施工技術者の育成**  
三和シャッター: 2020年までの建設投資の増加対応および技術者の高齢化対策のため、毎年100名程度の確保・育成を予定

### 4. 点検法制化への対応

- **2016年度施行の建築基準法一部改正(点検法制化)**
  - ・検査の対象範囲の拡大⇒特定行政庁の指定および法令で定める建築物
  - ・防火設備検査員(仮称)による点検⇒法的資格制度の対応

### 5. 伸ばすべき商品強化

- **間仕切** : スチールパーティション、ガラスパーティションのラインアップ
- **防水商品** : ウォーターガード・防水シャッター／ダブルタイトドアの発売

### 6. 特殊要因

- **消費増税反動の影響**  
軽量シャッター、住宅建材製品の2014年度上期影響は限定的だが、下期は影響が大きくなる見込み
- **東日本大震災復興需要**  
2014年度上期実績: 受注21億円、売上13億円  
通期予想: 受注31億円、売上22億円

■米州事業(ODC)

1. ドアの基盤強化

■年初の寒波の影響を克服

- ・ガレージドアは、製品ラインアップ拡充による市場以上の成長。
- ・鋼材価格上昇を見込んだ販売価格値上げをタイムリーに実施。
- ・商業用ドア事業は、川上営業強化プログラム導入および顧客ディーラーを対象とした商品研修などを実施。

2. 開閉機事業

■ジニー(開閉機)

- ・プロチャネル向け出荷を中心に好調に推移。
- ・原材料コストおよび工場労務費低減策などコスト削減も順調。

■OPP(低価格帯開閉機)

- ・NFと共同開発し、メキシコ自社生産している開閉機が順調に伸長し、顧客からも高い評価。

3. 川下戦略

■ホートン(自動ドア)サービス

ERP導入による作業負担があり、新たな施策は今後実施。

■CDS(カナダ)

新経営陣のもと改善策を実施、住宅・非住宅とも前年を大きく上回っている。

4. ERP導入

■トドコ、ホートンは導入済(全拠点導入予定:2016年3月)

一部混乱も発生したが、トドコでは大量受注への迅速な対応など一定の成果を確認。導入効果の業績寄与は2015年以降。



■ 欧州事業(NF)

1. 産業用ドア事業

■ Alpha Deuren International B.V.(以下アルファ社)の買収終了(2014年6月末)

《今回の買収目的》

コスト競争力の高いアルファ社の買収により、欧州産業用ドア市場における確固たる地位の確立を目指す。

1. 期待シナジー効果

- ①商品相互供給による販売拡大
- ②販売部門・生産部門の最適化
- ③物流費の削減

2. 今期の業績寄与額  
(7月から連結化)

		2013年	2014年予想 (7月~12月)
	アルファ社売上	64.8	35.0

(Me)



3. のれん : のれん総額および償却年数は未定(ただし、公表数値には、4.3億円の償却を折込んでいる)

2. 構造改革

将来の成長のため、欧州事業の構造改革をあらゆる観点から再検討

■ ヒンジドア事業

- ・ドイツ各工場間の生産体制の見直し
- ・各業務プロセスの見直しによる人員最適化

■ フランス事業の構造改革を継続実施

フランス経済に対応した生産体制の見直しおよび、人員最適化の継続実施



## 12. アジアの事業基盤確立

	13年度	14年度		
		上期実績	通期予想	期初予想
売上	53億円	18億円	52億円	59億円
営業利益	▲0.4億円	▲1.1億円	▲1.4億円	1.9億円

■アジア各社は、市場の動きが低調な中において、NF上海を除いて黒字を確保する予想。NF上海は一時的な要因で今期も業績が悪化しているが、2015年に向けて基盤強化への施策を展開中。

※アジア各社は持分法適用会社 ※為替は平均レートで表記

### 2014年度の状況と見通し

### 課題対応施策

#### 上海宝産三和

工業用ドアの需要は鈍いが、大型商業用ビルの取込み等で受注増を目指す。

- ・柔軟な価格政策、商業用ビルへの参入
- ・宝鋼集団との協業など

#### NF上海

不動産市場の停滞で苦戦しているが、市場動向の影響を受け難い公共投資物件等の受注確保を目指す。

- ・病院、地下鉄物件などへ進出
- ・宝産三和との協業強化、コスト削減推進

#### ビナサンワ (ベトナム)

日系物件の減少等から減収傾向だが、住宅用ドア等新規市場を開拓して行く。

- ・ローカル・外資市場への取組み強化
- ・近隣諸国への輸出対応

#### 安和金属 (台湾)

新規物件が少なく、売上GAPが大きくなっており、ターゲット領域を広げる。

- ・日本品質(高品質)としてのブランド定着
- ・ターゲット市場への品揃え強化

#### 三和香港

民主化運動が長引き、先行きが不透明。工事進捗遅延が多発している中、複数現場の効率的運営で工事進捗を図る。

- ・ステンレス、スチールドアなど多品種化への取組み強化

# 13. グローバル・シナジー効果の発揮

## ■ 取組み動向

中国ガレージドアプロジェクトとして、8月に開催された上海の展示会にWayne Daltonのガレージドアと三和シャッターの「静々動々」を出展。



### テーマおよび取組み事例

#### 1. 戦略商品のグローバル展開

14年度上期実績      14年度通期予想

0.6億円

3.7億円

## ■ 高機能シャッター開発

三和・ODC・NFで、グローバルスタンダードの高機能シャッターの共同開発を開始



#### 2. 低コスト国からの調達の拡大

2.5億円

7.7億円

## ■ 中国調達センターの統合

2015年より、グループ全体の共同調達体制をスタート



#### 3. 製品の相互補完・供給の拡大

0.3億円

0.8億円

## ■ ベトナムの大型現場への輸出

ベトナムのノイバイ空港向けに三和シャッターより製品出荷、現地で取付を開始



合計

3.4億円

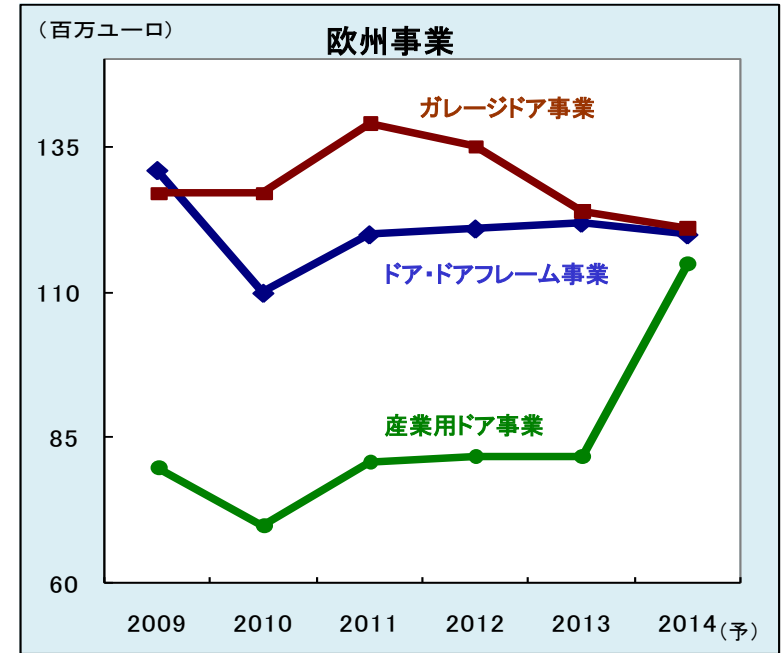
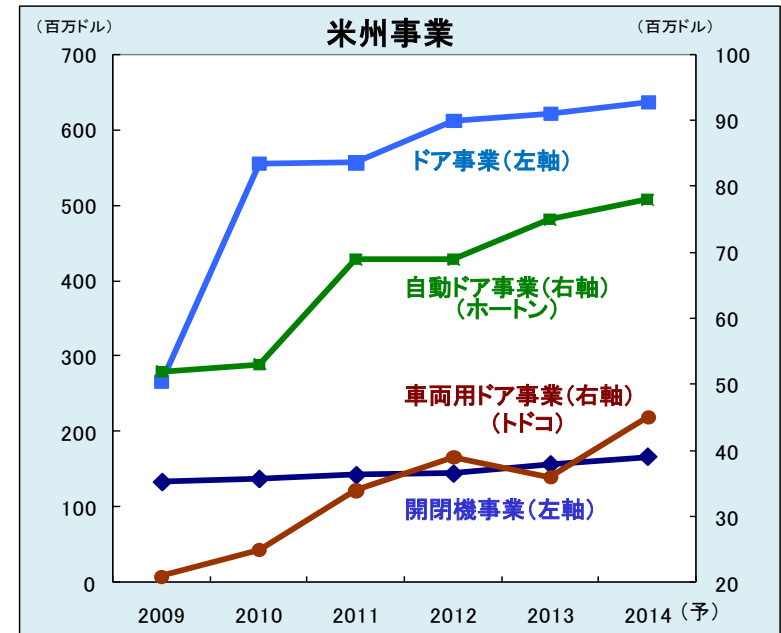
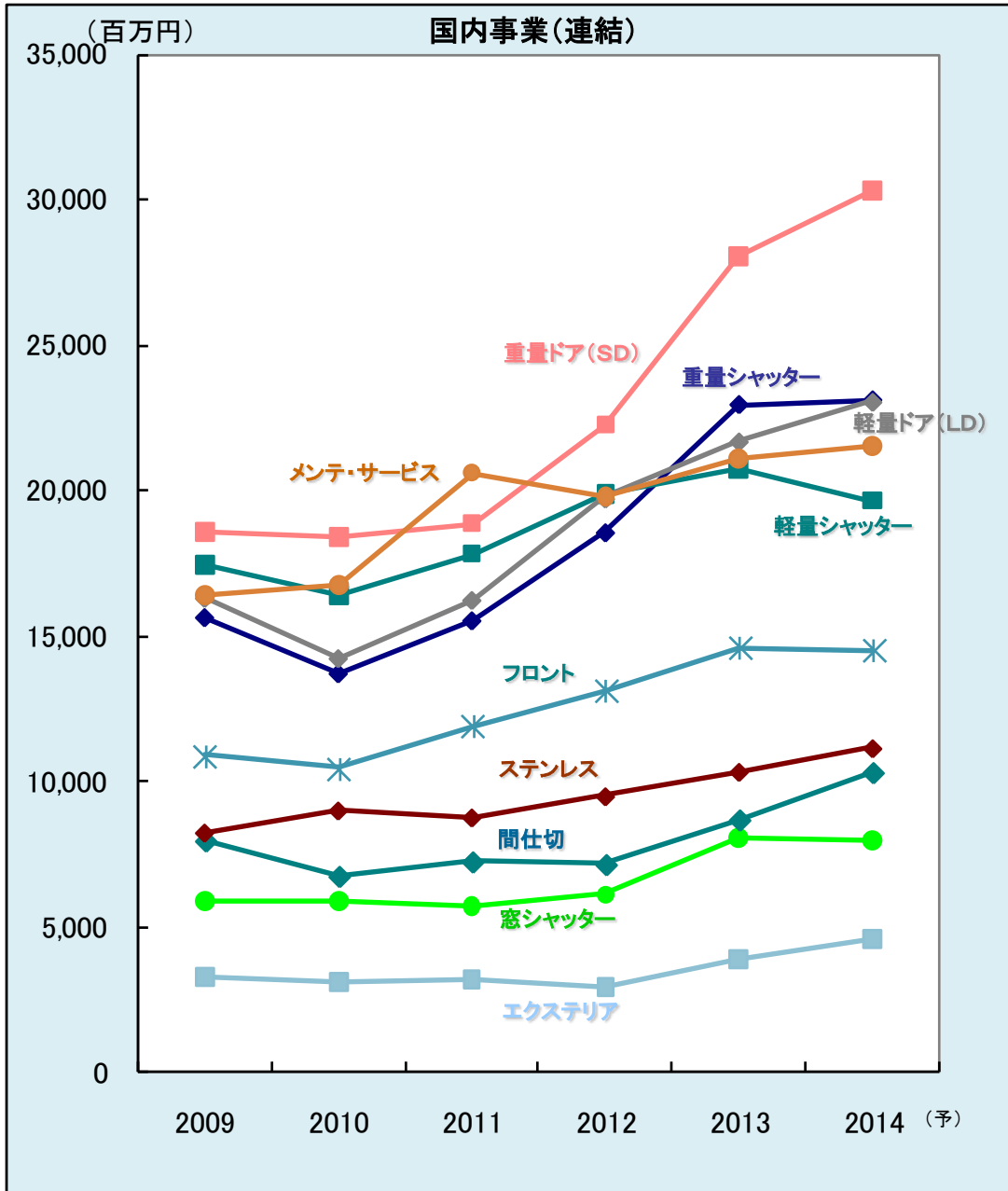
12.2億円

※上記金額は、各グループ会社の業績(利益)に含んでいます。

## ■ 参考資料



# 参考資料1. 各地域(日・米・欧)の主要商品売上動向



## 参考資料2. 主要経営指標

主要経営指標(連結)		2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
		実績	実績	実績	実績	予想	期初予想
売上高	(百万円)	237,295	248,214	265,913	311,957	332,500	329,000
営業利益	(百万円)	4,562	8,855	14,174	20,649	23,500	22,000
(のれん償却前)		(6,078)					
純利益	(百万円)	-2,443	3,297	7,182	10,161	11,500	11,500
(のれん等償却前)		(1,887)					
売上高営業利益率	(百万円)	1.9%	3.6%	5.3%	6.6%	7.1%	6.7%
(のれん償却前)		(2.6%)					
ROE: 純利益/純資産(期首・期末平均)		-2.7%	3.8%	7.9%	9.6%	9.9%	9.7%
(のれん等償却前)		(2.1%)					
自己資本比率(期末)		39.3%	37.7%	40.1%	40.4%	41.5%	41.7%
期末純資産	(百万円)	86,012	85,522	97,134	113,956	117,400	122,100
期末総資産	(百万円)	218,933	226,580	241,771	281,917	283,000	292,900
期末有利子負債	(百万円)	59,892	61,607	60,799	69,153	67,000	72,000
D/Eレシオ: 有利子負債/純資産	(倍)	0.70	0.72	0.63	0.61	0.57	0.59
SVA(Sanwa Value Added)	(百万円)	-2,661	-1,201	1,870	5,410	6,340	5,560
EPS: 1株純利益	(円)	-10.2	13.7	29.9	42.4	48.4	48.0
(のれん償却前)		(7.9)					
発行済株式数(期中平均)	(千株)	240,321	240,306	239,961	239,768	237,584	239,746

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVA的数値。 2. 2010年度の純利益(のれん等償却前)は、のれん償却と公取課徴金を除いたもの。

## 参考資料3. トピックス

◆2014年9月



防水商品「ウォーターガード・防水シャッター／ダブルスライドドア」を発売

三和シャッター工業が、簡単にすばやく安全に建物への浸水を防ぐ水害対策として、防水商品「ウォーターガード・防水シャッター／ダブルタイトドア」を発売。



◆2014年8月



三和シャッター工業・ODCが上海の「緑色建築建材博覧会」にガレージを出展

8月20～22日、上海新国際博覧センターで開催された「緑色建築建材博覧会」にODC／Wayne Daltonと三和シャッターのガレージドアを展示した。多くのお客様が来場し、そこで得た市場ニーズを今後の展開に生かす。



## 参考資料3. トピックス



台湾の高級マンション「松濤苑」に三和グループの商品が多数採用された

三和タジマ(日本)のステンレス製品と安和金属工業(台湾)のシャッター・防火戸が、台湾の高級マンション「松濤苑」に多数採用された。グローバルでの連携がこの受注を生み出した。



◆2014年8月



三和シャッター工業があべのハルカスにショールームを開設

三和シャッター工業が、あべのハルカスにショールームを開設した。法人向けとして、商談や情報交換から抽出された問題点や課題等を、商品の開発に反映させていく。



◆2014年8月



◆2014年8月

昭和フロントがアルミ製の「ダブルスライド自動ドア(直付けタイプ)」を発売

昭和フロントが、有効開口を広く確保したい店舗やビル出入口に最適なアルミ製「ダブルスライド自動ドア(直付けタイプ)」を発売。



◆2014年10月



三和ホールディングスがホームページをリニューアル

三和ホールディングスが、ホームページをリニューアルした。個人投資家向けに、当社グループへの理解を深めていただくためのページを新設し、検索性、利便性が向上した。



# 参考資料4. セクター別連結業績の概要

(百万円、千ドル、千ユーロ)

	2013年度									2014年度										
	第2四半期累計			第3・第4四半期合計			通期			第2四半期累計			第3・第4四半期合計(予想)			通期(修正予想)				
	(@95.90 @125.79)	利益率	前年 増減率		利益率	前年 増減率	(@97.99 @130.56)	利益率	前年 増減率	期初予想 (@100.00 @140.00)	(@102.23 @139.87)	利益率	前年 増減率		利益率	前年 増減率	期初予想 (@100.00 @140.00)	(@103.00 @135.00)	利益率	前年 増減率
<b>売上高</b>	<b>134,415</b>		(11.9%)	<b>177,541</b>		(21.8%)	<b>311,957</b>		(17.3%)	<b>143,800</b>	<b>146,406</b>		(8.9%)	<b>186,093</b>		(4.8%)	<b>329,000</b>	<b>332,500</b>		(6.6%)
[前年为替適用]											[141,489]		(5.3%)	[184,790]		(4.1%)	[326,280]			(4.6%)
<b>三和シャッター工業</b>	<b>65,216</b>		(6.0%)	<b>95,303</b>		(18.0%)	<b>160,520</b>		(12.8%)	<b>68,500</b>	<b>71,942</b>		(10.3%)	<b>95,457</b>		(0.2%)	<b>164,000</b>	<b>167,400</b>		(4.3%)
その他国内子会社	11,944		(4.9%)	16,636		(15.8%)	28,581		(11.0%)	12,300	12,258		(2.6%)	17,111		(2.9%)	29,200	29,370		(2.8%)
ODC(米国)	\$418,261		(2.7%)	\$472,114		(2.8%)	\$890,375		(2.7%)	\$435,000	\$425,869		(1.8%)	\$501,130		(6.1%)	\$970,000	\$927,000		(4.1%)
	40,111		(23.5%)	47,136		(27.6%)	87,247		(25.7%)	43,500	43,536		(8.5%)	51,944		(10.2%)	97,000	95,481		(9.4%)
ノボフェルム(欧州)	€ 160,227		(Δ5.0%)	€ 167,992		(Δ1.2%)	€ 328,219		(Δ3.1%)	€ 162,000	€ 157,735		(Δ1.6%)	€ 197,264		(17.4%)	€ 335,000	€ 355,000		(8.2%)
	20,154		(15.2%)	22,697		(29.3%)	42,852		(22.3%)	22,680	22,062		(9.5%)	25,862		(13.9%)	46,900	47,925		(11.8%)
<b>営業利益</b>	<b>4,514</b>	<b>[3.4%]</b>	(37.8%)	<b>16,135</b>	<b>[9.1%]</b>	(48.0%)	<b>20,649</b>	<b>[6.6%]</b>	(45.7%)	<b>5,200</b>	<b>7,140</b>	<b>[4.9%]</b>	(58.2%)	<b>16,359</b>	<b>[8.8%]</b>	(1.4%)	<b>22,000</b>	<b>23,500</b>	<b>[7.1%]</b>	(13.8%)
[前年为替適用]											[7,049]		(56.2%)	[16,106]		(Δ0.2%)	[23,155]			(12.1%)
<b>三和シャッター工業</b>	<b>3,612</b>	<b>[5.5%]</b>	(56.3%)	<b>9,858</b>	<b>[10.3%]</b>	(53.8%)	<b>13,470</b>	<b>[8.4%]</b>	(54.5%)	<b>3,800</b>	<b>5,239</b>	<b>[7.3%]</b>	(45.1%)	<b>10,260</b>	<b>[10.7%]</b>	(4.1%)	<b>13,900</b>	<b>15,500</b>	<b>[9.3%]</b>	(15.1%)
その他国内子会社	293	<b>[2.5%]</b>	(209.7%)	1,030	<b>[6.2%]</b>	(49.8%)	1,323	<b>[4.6%]</b>	(69.2%)	300	447	<b>[3.6%]</b>	(52.8%)	1,137	<b>[6.6%]</b>	(10.3%)	1,435	1,585	<b>[5.4%]</b>	(19.7%)
ODC(米国)	\$10,451		(Δ18.8%)	\$39,230		(8.5%)	\$49,681		(1.3%)	\$15,000	\$15,483		(48.2%)	\$44,516		(13.5%)	\$60,000	\$60,000		(20.8%)
	1,002	<b>[2.5%]</b>	(Δ2.4%)	3,866	<b>[8.2%]</b>	(33.2%)	4,868	<b>[5.6%]</b>	(23.9%)	1,500	1,582	<b>[3.6%]</b>	(57.9%)	4,597	<b>[8.8%]</b>	(18.9%)	6,000	6,180	<b>[6.5%]</b>	(26.9%)
ノボフェルム(欧州)	Δ€ 1,936		(-)	€ 10,183		(24.4%)	€ 8,247		(10.7%)	Δ€ 1,000	Δ€ 493		(+)	€ 10,493		(3.0%)	€ 8,500	€ 10,000		(21.2%)
	Δ243	<b>[Δ1.2%]</b>	(-)	1,320	<b>[5.5%]</b>	(55.9%)	1,076	<b>[2.5%]</b>	(39.7%)	Δ140	Δ68	<b>[Δ0.3%]</b>	(+)	1,418	<b>[5.5%]</b>	(7.5%)	1,190	1,350	<b>[2.8%]</b>	(25.4%)
<b>経常利益</b>	<b>4,298</b>	<b>[3.2%]</b>	(32.2%)	<b>16,017</b>	<b>[9.0%]</b>	(49.2%)	<b>20,316</b>	<b>[6.5%]</b>	(45.2%)	<b>4,800</b>	<b>6,826</b>	<b>[4.7%]</b>	(58.8%)	<b>16,173</b>	<b>[8.7%]</b>	(1.0%)	<b>21,500</b>	<b>23,000</b>	<b>[6.9%]</b>	(13.2%)
[前年为替適用]											[6,740]		(56.8%)	[15,928]		(Δ0.6%)	[22,668]			(11.6%)
<b>三和シャッター工業</b>	<b>3,769</b>	<b>[5.8%]</b>	(54.0%)	<b>10,000</b>	<b>[10.5%]</b>	(52.9%)	<b>13,769</b>	<b>[8.6%]</b>	(53.2%)	<b>3,920</b>	<b>5,432</b>	<b>[7.6%]</b>	(44.1%)	<b>10,367</b>	<b>[10.9%]</b>	(3.7%)	<b>14,120</b>	<b>15,800</b>	<b>[9.4%]</b>	(14.7%)
その他国内子会社	311	<b>[2.6%]</b>	(180.3%)	1,048	<b>[6.3%]</b>	(48.2%)	1,359	<b>[4.8%]</b>	(66.2%)	322	474	<b>[3.9%]</b>	(52.3%)	1,145	<b>[6.7%]</b>	(9.3%)	1,460	1,620	<b>[5.5%]</b>	(19.1%)
ODC(米国)	\$9,583		(Δ17.9%)	\$39,184		(6.9%)	\$48,768		(0.9%)	\$13,800	\$15,205		(58.7%)	\$43,194		(10.2%)	\$57,000	\$58,400		(19.8%)
	919	<b>[2.3%]</b>	(Δ1.3%)	3,859	<b>[8.2%]</b>	(31.2%)	4,778	<b>[5.5%]</b>	(23.4%)	1,380	1,554	<b>[3.6%]</b>	(69.1%)	4,460	<b>[8.6%]</b>	(15.6%)	5,700	6,015	<b>[6.3%]</b>	(25.9%)
ノボフェルム(欧州)	Δ€ 3,619		(-)	€ 9,101		(4.0%)	€ 5,481		(Δ25.8%)	Δ€ 2,000	Δ€ 701		(+)	€ 9,601		(5.5%)	€ 7,400	€ 8,900		(62.4%)
	Δ455	<b>[Δ2.3%]</b>	(-)	1,170	<b>[5.2%]</b>	(29.3%)	715	<b>[1.7%]</b>	(Δ6.4%)	Δ280	Δ98	<b>[Δ0.4%]</b>	(+)	1,300	<b>[5.0%]</b>	(11.0%)	1,036	1,202	<b>[2.5%]</b>	(68.0%)
持分法適用会社投資損益	Δ20		(-)	227		(+)	206		(76.9%)	Δ15	Δ207		(-)	19		(Δ91.3%)	225	Δ188		(-)
<b>当期純利益</b>	<b>916</b>	<b>[0.7%]</b>	(Δ39.5%)	<b>9,244</b>	<b>[5.2%]</b>	(63.1%)	<b>10,161</b>	<b>[3.3%]</b>	(41.5%)	<b>2,300</b>	<b>3,286</b>	<b>[2.2%]</b>	(258.8%)	<b>8,213</b>	<b>[4.4%]</b>	(Δ11.2%)	<b>11,500</b>	<b>11,500</b>	<b>[3.5%]</b>	(13.2%)
[前年为替適用]											[3,254]		(255.3%)	[8,048]		(Δ12.9%)	[11,302]			(11.2%)
<b>三和シャッター工業</b>	<b>1,133</b>	<b>[1.7%]</b>	(Δ16.6%)	<b>6,082</b>	<b>[6.4%]</b>	(54.6%)	<b>7,216</b>	<b>[4.5%]</b>	(36.3%)	<b>2,337</b>	<b>3,416</b>	<b>[4.7%]</b>	(201.4%)	<b>6,583</b>	<b>[6.9%]</b>	(8.2%)	<b>8,750</b>	<b>10,000</b>	<b>[6.0%]</b>	(38.6%)
その他国内子会社	186	<b>[1.6%]</b>	(151.1%)	489	<b>[2.9%]</b>	(12.8%)	676	<b>[2.4%]</b>	(33.0%)	170	273	<b>[2.2%]</b>	(46.6%)	726	<b>[4.2%]</b>	(48.3%)	810	1,000	<b>[3.4%]</b>	(47.8%)
ODC(米国)	\$2,433		(Δ48.5%)	\$18,199		(Δ7.1%)	\$20,633		(Δ15.1%)	\$8,100	\$9,767		(301.4%)	\$28,732		(57.9%)	\$34,500	\$38,500		(86.6%)
	233	<b>[0.6%]</b>	(Δ38.1%)	1,788	<b>[3.8%]</b>	(13.9%)	2,021	<b>[2.3%]</b>	(3.8%)	810	998	<b>[2.3%]</b>	(327.9%)	2,966	<b>[5.7%]</b>	(65.9%)	3,450	3,965	<b>[4.2%]</b>	(96.1%)
ノボフェルム(欧州)	Δ€ 2,057		(-)	€ 4,508		(15.1%)	€ 2,451		(22.0%)	Δ€ 3,000	Δ€ 2,132		(-)	€ 3,232		(Δ28.3%)	€ 2,300	€ 1,100		(Δ55.1%)
	Δ258	<b>[Δ1.3%]</b>	(-)	578	<b>[2.5%]</b>	(42.6%)	320	<b>[0.7%]</b>	(53.9%)	Δ420	Δ298	<b>[Δ1.4%]</b>	(-)	446	<b>[1.7%]</b>	(Δ22.8%)	322	148	<b>[0.3%]</b>	(Δ53.6%)
持分法適用会社投資損益	Δ20		(-)	227		(+)	206		(76.9%)	Δ15	Δ207		(-)	19		(Δ91.3%)	225	Δ188		(-)

- 2014年度の「」内は、前年の為替換算レートを適用した場合の数値であります。
- 数値は切り捨て。( )内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。【】内は利益率。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用しています。
- 上記には、三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しません。

# 参考資料5. 製品別受注高・売上高 (三和シャッター工業)

(百万円・%)

		2013年度 (H25年度)										2014年度 (H26年度)									
		上 期			下 期			通 期				上 期 (実績)			下 期 (予想)			通 期 (予想)			
		受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比
シャッター製品	軽 量	(△2.3)	(△2.8)		(8.9)	(12.5)		(3.1)	(4.7)		(△0.2)	(0.5)		(△3.5)	(△6.6)		(△1.9)	(△3.3)			
	重 量	(30.0)	(14.5)	19.9	(8.1)	(24.1)	15.4	(18.0)	(20.0)	16.5	(5.8)	(8.5)	18.2	(0.7)	(△5.0)	14.3	(3.2)	(3.2)	(0.5)		
	小 計	(12.9)	(5.0)	19.9	(8.5)	(18.7)	34.6	(10.6)	(12.3)	35.6	(3.1)	(4.5)	37.3	(△1.3)	(△5.7)	32.6	(0.9)	(△1.3)	(△1.3)	34.6	
シャッター関連	O S D	(8.4)	(8.4)	4.1	(11.1)	(17.2)	3.7	(9.8)	(13.3)	3.8	(△1.5)	(2.0)	3.8	(6.5)	(△5.3)	3.5	(2.6)	(△2.2)	(△2.2)	3.6	
	そ の 他			6.3	(4.4)	(15.8)	6.2	(8.3)	(12.2)	6.2	(4.1)	(5.8)	6.2	(8.8)	(△1.1)	6.3	(6.5)	(1.8)	(1.8)	6.2	
	小 計	(12.6)	(7.5)	10.4	(4.4)	(15.8)	9.9	(8.3)	(12.2)	10.1	(4.1)	(5.8)	10.0	(8.8)	(△1.1)	9.7	(6.5)	(1.8)	(1.8)	9.8	
ドア製品	ビル・マンション	(12.3)	(△1.7)	27.4	(18.1)	(15.0)	34.1	(15.3)	(8.5)	31.4	(12.7)	(13.5)	28.2	(△0.3)	(3.4)	35.2	(5.9)	(7.0)	(7.0)	32.2	
	住 宅	(38.8)	(38.4)	1.6	(84.6)	(84.7)	1.6	(62.8)	(62.7)	1.6	(54.4)	(54.7)	2.2	(2.2)	(2.0)	1.6	(23.3)	(23.3)	(23.3)	1.9	
	小 計	(13.1)	(△0.1)	29.0	(20.3)	(17.0)	35.7	(16.8)	(10.3)	33.0	(14.4)	(15.7)	30.4	(△0.1)	(3.3)	36.8	(6.7)	(7.8)	(7.8)	34.1	
窓 製 品		(21.7)	(21.9)	5.9	(36.5)	(37.6)	5.0	(29.4)	(30.1)	5.3	(13.3)	(13.1)	6.0	(△11.6)	(△12.3)	4.3	(△0.4)	(△1.0)	(△1.0)	5.1	
エクステリア製品		(17.9)	(2.2)	2.2	(60.5)	(63.9)	2.2	(38.2)	(31.7)	2.2	(19.6)	(31.4)	2.6	(13.0)	(11.2)	2.4	(15.9)	(19.4)	(19.4)	2.5	
その他の製品	間 仕 切 製 品	(21.3)	(21.8)	5.1	(25.7)	(21.7)	5.6	(23.5)	(21.8)	5.4	(18.8)	(19.8)	5.5	(20.5)	(18.2)	6.6	(19.7)	(18.8)	(18.8)	6.1	
	ス テ ン レ ス 製 品	(15.8)	(1.5)	2.1	(41.5)	(8.6)	2.9	(29.1)	(6.2)	2.5	(67.4)	(42.9)	2.7	(13.7)	(9.4)	3.1	(37.0)	(20.5)	(20.5)	2.9	
	フ ロ ン ト 製 品	(2.3)	(4.3)	0.6	(10.7)	(22.1)	0.5	(6.3)	(13.5)	0.6	(△0.7)	(△14.1)	0.5	(4.5)	(△8.3)	0.5	(1.9)	(△10.8)	(△10.8)	0.5	
	自 動 ド ア エ ン ジ ン	(23.1)	(20.8)	1.5	(16.1)	(33.7)	1.4	(19.3)	(27.9)	1.5	(13.4)	(12.3)	1.6	(8.5)	(4.5)	1.5	(10.8)	(7.8)	(7.8)	1.5	
	そ の 他			3.9	(24.8)	(9.1)	2.3	(19.1)	(12.5)	3.0	(22.0)	(14.6)	3.5	(11.2)	(11.2)	2.4	(16.2)	(12.6)	(12.6)	2.9	
	小 計	(13.1)	(17.6)	13.3	(24.8)	(9.1)	12.7	(19.1)	(12.5)	12.9	(22.0)	(14.6)	13.8	(11.2)	(11.2)	14.1	(16.2)	(12.6)	(12.6)	14.0	
合 計		(13.5)	(6.0)	100.0	(16.3)	(18.0)	100.0	(14.9)	(12.8)	100.0	(10.3)	(10.3)	100.0	(1.6)	(0.2)	100.0	(5.8)	(4.3)	(4.3)	100.0	
ビル建材部門		(18.9)	(5.9)	56.5	(15.2)	(18.0)	64.8	(17.0)	(13.2)	61.4	(13.0)	(13.3)	58.0	(4.1)	(2.1)	66.1	(8.4)	(6.3)	(6.3)	62.6	
店装建材部門		(△1.9)	(△2.6)	15.9	(8.2)	(12.9)	12.4	(3.0)	(5.1)	13.8	(△1.6)	(△0.9)	14.2	(△5.2)	(△9.2)	11.3	(△3.4)	(△5.4)	(△5.4)	12.5	
住宅建材部門		(25.8)	(22.0)	10.3	(48.1)	(50.0)	9.3	(37.3)	(36.5)	9.7	(19.3)	(21.5)	11.4	(△3.7)	(△4.4)	8.8	(6.5)	(6.8)	(6.8)	9.9	
メンテ・サービス		(1.7)	(0.5)	14.6	(10.0)	(12.7)	12.0	(5.9)	(6.8)	13.0	(4.9)	(4.1)	13.7	(0.5)	(0.5)	12.0	(2.5)	(2.1)	(2.1)	12.8	
そ の 他				2.8			1.5			2.0		2.6			1.8					2.2	
		金 額			金 額			通期増減額			金 額			金 額			通期増減額				
手 持 残 高		66,901			59,536			7,885			76,207			70,284			10,748				
う ち		18,700			12,455			△1,009			18,945			16,500			4,044				

1. ( ) 内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

## 参考資料6. 2014年度ODC業績予想

(千ドル・%)

		2013年度						2014年度					
		上期		下期		通期		上期(実績)		下期(予想)		通期(予想)	
部門別売上高	ドア部門	(0.1) 288,116	68.9	(2.6) 333,458	70.6	(1.4) 621,574	69.8	(1.1) 291,246	68.4	(3.6) 345,554	69.0	(2.4) 636,800	68.7
	開閉機部門	(10.0) 75,577	18.1	(7.1) 81,751	17.3	(8.4) 157,328	17.7	(7.5) 81,224	19.1	(5.5) 86,276	17.2	(6.5) 167,500	18.1
	自動ドア部門	(7.1) 35,324	8.4	(10.6) 40,273	8.5	(8.9) 75,597	8.5	(△10.2) 31,737	7.5	(15.1) 46,363	9.3	(3.3) 78,100	8.4
	車両部門	(9.8) 19,244	4.6	(△23.3) 16,632	3.5	(△8.5) 35,876	4.0	(12.6) 21,662	5.1	(37.9) 22,938	4.6	(24.3) 44,600	4.8
<b>売上高</b>		(2.7) 418,261	100.0	(2.8) 472,113	100.0	(2.7) 890,375	100.0	(1.8) 425,869	100.0	(6.1) 501,130	100.0	(4.1) 927,000	100.0
<b>営業利益</b>		(△18.8) 10,451	2.5	(8.5) 39,229	8.3	(1.3) 49,681	5.6	(48.2) 15,483	3.6	(13.5) 44,516	8.9	(20.8) 60,000	6.5
<b>経常利益</b>		(△17.9) 9,583	2.3	(6.9) 39,184	8.3	(0.9) 48,768	5.5	(58.7) 15,205	3.6	(10.2) 43,194	8.6	(19.8) 58,400	6.3
<b>当期純利益</b>		(△48.5) 2,433	0.6	(△7.1) 18,199	3.9	(△15.1) 20,633	2.3	(301.4) 9,767	2.3	(57.9) 28,732	5.7	(86.6) 38,500	4.2
<b>EBIT</b>		(△19.7) 9,661	2.3	(7.3) 39,356	8.3	(0.6) 49,017	5.5	(58.8) 15,338	3.6	(9.9) 43,261	8.6	(19.6) 58,600	6.3
<b>EBITDA</b>		(△9.0) 19,628	4.7	(5.0) 49,759	10.5	(0.6) 69,387	7.8	(34.2) 26,341	6.2	(11.0) 55,220	11.0	(17.5) 81,561	8.8

1. ( )内は前年増減率を示す。
2. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。

## 参考資料7. 2014年度NF業績予想

(千ユーロ、%)

		2013年度						2014年度(予想)					
		上期		下期		通期		上期		下期		通期	
所在地別	ドイツ	(△5.0)		(△0.3)		(△2.6)		(△0.6)		(△0.6)		(△0.6)	
		108,813	67.9	118,440	70.5	227,253	69.2	108,118	68.5	117,682	59.7	225,800	63.6
	フランス	(△8.5)		(△8.0)		(△8.3)		(△7.8)		(△6.1)		(△7.0)	
		36,022	22.5	31,849	19.0	67,871	20.7	33,206	21.1	29,894	15.2	63,100	17.8
	イタリア	(△3.7)		(21.0)		(8.9)		(18.6)		(11.4)		(14.5)	
		9,281	5.8	12,201	7.3	21,482	6.5	11,010	7.0	13,590	6.9	24,600	6.9
	オランダ	(△0.9)		(△0.7)		(△0.8)		(0.5)		(119.7)		(59.9)	
		28,992	18.1	28,743	17.1	57,735	17.6	29,146	18.5	63,154	32.0	92,300	26.0
売上高		(△5.0)		(△1.2)		(△3.1)		(△1.6)		(17.4)		(8.2)	
		160,227	100.0	167,991	100.0	328,219	100.0	157,735	100.0	197,265	100.0	355,000	100.0
営業利益		(-)		(24.4)		(10.7)		(+)		(3.0)		(21.3)	
		△1,936	△1.2	10,183	6.1	8,247	2.5	△493	△0.3	10,493	5.3	10,000	2.8
経常利益		(-)		(4.0)		(△25.8)		(+)		(5.5)		(62.4)	
		△3,619	△2.3	9,100	5.4	5,481	1.7	△701	△0.4	9,601	4.9	8,900	2.5
当期純利益		(-)		(15.1)		(22.0)		(-)		(△28.3)		(△55.1)	
		△2,057	△1.3	4,508	2.7	2,451	0.7	△2,132	△1.4	3,232	1.6	1,100	0.3
EBIT		(-)		(1.7)		(△23.9)		(+)		(28.7)		(42.0)	
		△2,655	△1.7	10,120	6.0	7,465	2.3	△2,425	△1.5	13,025	6.6	10,600	3.0
EBITDA		(△55.3)		(2.2)		(△12.0)		(5.3)		(23.1)		(20.8)	
		2,203	1.4	15,332	9.1	17,535	5.3	2,319	1.5	18,870	9.6	21,189	6.0

1. IFRS基準で作成したものを日本基準に組替えて示す。
2. 所在地別売上高は各国所在各社の単純合算数値です。上段( )は前年増減率を示す。
3. EBITおよびEBITDAには、特別損益を含まない。
4. 報告区分の変更により2013年度の所在地別売上高を変更して示す。
5. 2014年度下期よりAlpha社を予測に含めております。

## 参考資料8. 設備投資額と減価償却費(連結)

(百万円)

	2012年度		2013年度		2014年度(見通し)	
	上期	通期	上期	通期	上期	通期
<b>設備投資額</b>	<b>1,792</b>	<b>4,293</b>	<b>3,247</b>	<b>7,116</b>	<b>3,199</b>	<b>7,402</b>
三和シャッター工業	288	887	837	2,143	942	2,000
三和ホールディングス	83	149	208	251	122	300
為替レート ( )内は千ドル表示	79.78 (\$11,500)	80.12 (\$23,193)	95.90 (\$17,359)	97.99 (\$32,042)	102.23 (\$15,180)	103.00 (\$34,000)
ODC	917	1,858	1,664	3,139	1,551	3,502
為替レート ( )内は千ユーロ表示	103.76 (€4,489)	103.46 (€12,995)	125.79 (€4,097)	130.56 (€10,743)	139.87 (€3,861)	135.00 (€10,000)
Novoform	465	1,344	515	1,402	540	1,350
国内連結子会社	36	53	21	179	42	250
<b>減価償却費</b>	<b>2,883</b>	<b>5,785</b>	<b>3,134</b>	<b>6,626</b>	<b>3,536</b>	<b>7,967</b>
三和シャッター工業	1,052	2,162	1,074	2,306	1,231	2,679
三和ホールディングス	249	502	232	472	228	460
ODC	761	1,624	955	1,996	1,124	2,365
Novoform	524	1,046	611	1,314	663	1,429
国内連結子会社 のれん償却額	45 249	92 356	41 218	89 446	52 235	137 897
<b>有形固定資産償却費</b>	<b>1,679</b>	<b>3,425</b>	<b>1,886</b>	<b>3,969</b>	<b>2,025</b>	<b>4,367</b>
三和シャッター工業	297	640	311	752	425	1,016
三和ホールディングス	245	493	231	469	228	459
ODC	632	1,290	768	1,546	737	1,551
Novoform	464	918	538	1,120	588	1,229
国内連結子会社	40	83	37	80	46	111
<b>無形固定資産償却費</b>	<b>1,203</b>	<b>2,360</b>	<b>1,248</b>	<b>2,656</b>	<b>1,510</b>	<b>3,600</b>
三和シャッター工業	755	1,522	763	1,554	805	1,663
三和ホールディングス	4	8	1	2	0	1
ODC	129	334	187	449	387	813
Novoform	60	128	72	194	75	199
国内連結子会社 のれん償却額	4 249	9 356	4 218	9 446	5 235	26 897